

医療法人幕内会 山王台病院・介護老人保健施設 あいあい

# 山王台

Sannodai

1

2004.10 AUTUMN

創刊号



食欲の秋。旬のものを食べよう！  
医食同源

特集

## 山王台病院が目指す 21世紀の地域医療

座談会 / 院長 幕内幹男 + 副院長 金森直明 + 看護部長 川端みどり

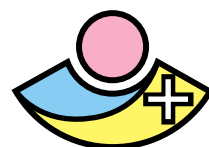
医食同源 / 食欲の秋。旬のものを食べよう！(管理栄養士 西村久美子)

高度先進医療最前線 / MRI磁気共鳴画像(放射線技師長 大津義弘)

医科だより / 腎臓内科(臨床工学技士 鈴木 潔)

今月の横顔 / 癒し癒されること(精神対話士 小島直美)

山王台インフォメーション



SUNNOUDAI  
HOSPITAL



食欲の秋。旬のものを食べよう！

# 旬のものを食べて 心も身体も健康になりましょう。

## 春

夏秋冬、日本には四季があり、その時事ごとに旬の食材が出回ります。旬のものというのは、食材が一番おいしく、栄養価が高く、なおかつ経済的です。特に秋は「収穫の秋」と云われるほどさまざまな食材が店先に並ぶのでおいしいものをたくさん食べて秋の味覚を堪能しましょう。中でも秋を感じさせる食材の代表に「果物」があります。秋が旬の果物は、柿・栗・梨・ブドウ・りんごなどですが、特に柿は栄養満点！

柿は「実」はもちろん「へた」や「葉」にも薬効があります。実にはビタミンA・C、カリウムが豊富に含まれ、美肌効果があり、風邪や高血圧予防にも効果があります。また、生柿よりも栄養価が優れるのが干し柿。胃腸を丈夫にして内臓を温めるなどの効果があります。食物繊維は生柿の8倍になるため便秘の解消にも。表面につく白い粉には粘膜を潤し、咳を止め痰を取り除く作用があり、昔から風邪をひいたときに食されてきました。また、柿のへたにも吐き気止め、百日咳、夜尿症などに効果が食べるとゲップやしゃっくりが止まるとも云われます。最近よく見かける柿の葉茶も必見！柿の葉には果肉の10倍から20倍ものビタミンCが含まれており、柿の葉茶にして飲むすると新陳代謝が活発になり動脈硬化や高血圧の

安定化につながります。

柿は今からの季節が一番美味しくなり、秋に旬のものを食べてもよし、干して冬に食べてもよし。

寒い冬になる前に、秋の味覚をたくさん食べて風邪などひかない体力をつけておきましょう。



あいあい管理栄養士  
西村久美子

医療技術の画期的な進展とともに、地域医療に求められる要望も多様化してきています。老人保健施設を併設し、新たな医療最前線をめざして再スタートを果たした山王台病院の広報誌・創刊号。医療現場の情報公開が叫ばれている中、山王台病院が描く理想の地域医療とは。

理事長兼院長 幕内 幹男

理事兼副院長 金森 直明

看護部長 川端みどり

## 地域の中核病院の先駆けとして、病気の多様化に対応できる起動力のある医療体制を

大病院が抱える問題を改善し、患者様中心の医療を二四時間体制で

山王台病院は平成一一年に新体制での開設を果たしましたが、その経緯とは？

幕内「山王台病院は、昭和四二年に消化器科の専門病院として設立されたのが始まりです。その間、地域の皆様の身近な病院として支えられてきましたが、地域の中核病院として、より質の高い医療を提供で

きる病院として進化させることが必要だと考えてきました。

そのような思いで私は大病院で研修を重ねてきたという経緯があります。私なりに研修の成果を判断し、多様化する病気に即応でき、患者様を中心に据えた病院の在り方を具現化したスタートが平成一一年であったわけです。しかし、この山王台病院で必要なことは、いわゆる研究医療ではなく、地域医療としての起動力と患者様に幅広い生きた医療の提供

を継続的に行なうということ

です。たとえば、検査ひとつするにも予約待ちで時間がかかるといような大病院が抱える様々な問題を検討し、快適な環境で質の高い医療を二四時間体制で提供するための取り組みを強化してきました。昨年には介護老人保健施設『あい』も併設し、地域の皆様が生涯にわたって安心した医療が受けられるトータルな医療拠点として成長を続けています。」

特集

# 山王台病院が目指す21世紀の地域医療

座談会



院長 幕内 幹男

特集 山王台病院が目指す21世紀の地域医療

# 患者様の癒し空間としての病院とは？ 快適さを提供するための設計と対応教育

立ち遅れていた日本の  
病院環境設計に提言

快適な環境を提供するとい  
う点で、どのような点に気を  
配ったのですか？

幕内 「清潔で心地よく、癒し  
の場としての病院設計は、欧米  
では当たり前のことです。とこ  
ろが、官公庁などはほとんど快  
適な建物を採用していく中、日  
本では病院の環境設計がもつ  
とも立ち遅れていると思ってい  
ました。当病院はそんな問題  
にも提言できるように、ローコス  
トでありながらも患者様に  
とつての快適さを採光やイン  
テリアなどに考慮しています。  
平成一一年時のコンセプトは



『ホテルのような病院』という  
ことで、フロントで受け付けをす  
れば、後はスタッフがスムーズ  
にご案内させていただくとい  
う環境と流れを作りたかった  
のです。」

川端 「患者様に対応する私た  
ちも、事前に徹底した対応の  
マナー研修を受けました。従  
来の病院というと、どうして  
も治療をしてあげる、診てあ  
げるといふような対応だった  
と思いますが、『診させていた  
だく』『看護させていただく』  
という気持ちに切り替えるこ  
とが大切だったのです。」

専門療法が近くで受け  
られ負担も軽減

幕内 「技術とは個人が有する  
もので、病院が所有するもの  
ではないと考えています。現  
代の医療機器の性能は素晴ら  
しく、当病院でも大学病院と  
同じレベルの先端医療機器が  
導入されていますから、設備

幕内 「マナー研修には、ディ  
ズニランドのコンサルティン  
グを行っている会社やスチュ  
ワートレスの方のノウハウを導  
入し徹底してサービスマナーの修  
得に力を入れました。」



## 専門性の高い医療技術と先進機器の融合

面における環境が整っている  
と自負しています。高度専門  
医療とは、専門性の高い一人  
一人の医師の技術と先端の医  
療機器が融合して実現するも  
の。そういった意味では、当病  
院では、それぞれの分野で高  
い専門性が認められた医師が  
固有技術を発揮できる環境が  
整っていますから、地域の皆

様の安心と信頼に応える病院  
であるといえるでしょう。」  
金森 「当病院は高度な外科手  
術もでき、内視鏡の専門病院  
でもあると同時に、入院施設  
を完備した透析センターも兼  
ね備えています。透析療法を  
している患者様は週三回の通  
院が必要ですが、今までは遠



副院長  
金森 直明



## 地域の医療連携にも大きく貢献

幕内「地域の中核病院としての機能は、地域医療の連携にも役立つと言えます。」  
金森「そうですね。個人病院の先生方も地域内に信頼できる病院があれば、ぎりぎりまで患者様を診て、「ご判断によっては安心してこちらに委ねていただくことができます。地域の病院ですから、医師同士もコミュニケーションも取れていて、学会などでお会い



腹を切らずに術後の痛みも少ない腹腔鏡下手術。

すれば『あの患者様はどうされたか』など親身な連携が図れています。」

幕内「石岡には基幹病院としての総合病院がないという課題がありますが、他の専門病院とは積極的な提携関係を結び、患者様のご要望に合わせて地域はもとより、県内外の病院とも緻密な医療のネットワークを広げています。」

## 病院スタッフの自己啓発を兼ねて広報誌発行を

### 山王台病院からの真摯なメッセージを

広報誌発行には、どんなねらいがあるのですか？

幕内「患者様の立場に立った地域医療をめざして再スタートした当病院も五年目を迎え、本当に良い医療が提供できているのか研鑽と確認をする時期にきています。広報誌は病院のPRというよりも、病院すべてのスタッフの自己啓発になればと願っているんです。」  
金森「広報誌の発行によって委員会も立ち上がり、それぞれの部門で自分たちの業務を

見つめ直すムードが起きていて、それは病院の士気をとて高めることになっているように思います。なかなか親しみの持てない病院というもののあり方を地域の皆様に知っていただく好機になればとも思いますね。」

川端「外来や入院の患者様にとって、私たち一人一人は唯一の存在だと思っんです。ひとこと声をかけることで患者様の不安が和らぐことが多くあるように、広報誌も患者様に安心していただくためのメッセージになればいいなと思っています。」



## 座談会



看護部長  
川端 みどり



特集

山王台病院が目指す21世紀の地域医療

# 増加傾向にある 透析療法ニーズに 高度な医療を

## 腎

臓疾患により、透析療法が必須な方は年々増加傾向にあります。事実、昨年の慢性透析患者様数は全国で三万七七一〇名にも及び毎年一万人程度づつ増え、今後一〇年から一五年の間は同様の増加傾向をたどることが予想されています。（日本透析医学会「二〇一三年透析療法の現況」）

そのような状況の中、当病院では平成一五年に第二透析センターを開設したことによって、透析療法を受ける患者様数が外来・入院を合わせて、現在一〇九名様。ベッド数は五床から三四床に増え、スタッフも看護師一〇名、臨床工学技士四名、看護助手三名、看護学生二名の総勢二〇名の体制が整いました。従来からの透析治療の患者様に加えて、当病

## 医科だより

01

### 腎臓内科



臨床工学技士 鈴木 潔

「臨床工学技士」とは、人の生命に直結した各種の生命維持管理装置の操作と保守点検を行う医療現場のプロフェッショナルです。工学に支えられる高度先進医療の現場を担い、患者様の治療に最善を尽くします。



院でも、前述の「透析療法の現況」と同様糖尿病性腎症の患者様の導入の増加や、透析患者様の高齢化に伴い、万全の体制の中、安心して治療していただけるよう次のような理念を掲げています。

一人ひとりの患者様の状況を把握し、継続的なケアを中心に看護の質を向上させます。

科学的・構造的根拠に基づく看護を志します。

医師、他部門はもとより地域との連携を図り、社会資源を活用した相互協力を円滑に行います。

社会の変化に対応し、高水準の看護を志します。

患者様のニーズに応え、生活の質（QOL）の向上を目指す看護を展開します。

透析治療は、月曜から土曜まで毎日二クール施行し、血液透析（HD）、血液濾過（HF）、血液透析濾過（HDF）、血漿交換（PE）、吸着療法（LDL吸着等）、腹水濃縮濾過などの血液浄化療法全般に対応し、内シャント作成術、グラフト移植術、経皮的血管形成術なども行い、透析患者様にとって最良の環境が整えられています。

# 高度先進医療 最前線

山王台病院  
X線診断センター

## Magnetic Resonance Imaging 【磁気共鳴画像】



**M**RI検査は、放射線を使用しないで、磁石の力で体を自由な角度から写真を取ることが出来ます。X線CTでは撮影出来ない、頸椎、腰椎などの部位に威力を発揮します。放射線を使用しないので、被曝などの点で心配なく、子供、妊婦さんなども検査が受けられます（医師の承諾が必要）。

さらに、頭の血管は、造影剤を使用しないで、寝ているだけで脳血管の異常（脳動脈瘤、脳動脈奇形）を調べることが出来ます。従来一時間くらいかかった検査も約二〇分で終了することが出来るようになりました。

放射線技師長  
大津義弘

予約不要で対応できる  
患者様重視の起動力

## 今月の横断 01 あいあい

### 癒し癒されること

あいあいメンタルケア  
精神対話士 小島直美



感性であるといいます。

WHOでは、緩和ケアについて身体的痛みのケア、精神的痛みのケア、社会的痛みのケア、それに魂の痛みのケアを掲げています。この魂の痛みということばにならない訴えは、ただ黙ってそばにいて、そしてひたすら話を聞くこと、魂の痛みを共有し寄り添いそこにいて見つめ、うなずき撫でるといことです。

私達は「生きることの尊さ」を共感し、人の心への思いやりをもって接していきたいと思っています。



21世紀は、「心の時代」と云われています。何故これほどまでに、多くの人たちが心のケアを求めているのでしょうか。高齢化社会や慢性病など社会情勢や個人の背景の中で、生きる上で居場所を失い、不安と孤独の中でさまよっているため「癒し」という全体的な回復を求めているのかもしれない。「心を癒す」とは、共有する文化や暮らしの中で互いが癒し癒されて行く相互的で自力的な営みであり、「気」が通じ合うこと。心のケアに大切なのは、想像力と感受力、その人の

# INFORMATION

## ありがとう「あいあい」1周年

陶芸家寺本守さんを講師に  
招き陶芸教室を開催



入所・デイケアを対象に笠間焼の陶芸家寺本守さんを講師に招き、リハビリを兼ねた陶芸教室が行なわれました。

実際に皿や花瓶、急須など思い思いの作品が完成。参加した一人は、「思うように手が動かなかったが、とても楽しかった」と感想を話していました。

作品は、各フロアに展示披露し好評でした。施設の行事として定期的に行っていく予定です。

毎月恒例『居酒屋まくちゃん』が大好評!



利用者の方や家族や地域のボランティア、介護スタッフとの交流など、自立支援や在宅復帰を目指し「入所していても生き生きと楽しく生活して行こう」と、毎月恒例の居酒屋まくちゃんを開店しています。

ウッドデッキでさわやかな風を受けながら、普段より食べて・飲んで・歌って・踊って、楽しいひと時を過ごしました。

学生ボランティアがお年寄りとの交流を定期的開催



石岡中学校は、学生による園芸ボランティアや、お話ボランティア清掃ボランティアなどお年寄りとの交流を定期的に行っています。

園芸ボランティアは、屋上庭園やウッドデッキにある花壇に四季折々の草花やトマト、カボチャ、なすなど、たくさんの野菜を植えてお年寄りの目を楽しませてくれます。

やすらぎに満ちた癒し空間  
レストラン『ラパス』



やすらぎに満ちた癒しの空間「ラパス」は、生け花や陶芸家の作品が数多く飾られたレストラン。ガラスや黒塗りのテーブルにもこだわり、ゆったりと椅子に座ることが出来ます。きっとリラックスできる自分の居場所が見つかりそうです。そして、おいしい料理と日光浴を楽しんで下さい。どなたでもご利用頂けます。

七夕祭りも石岡中学校のボランティアの生徒達と



定期的訪問する、石岡中学校のボランティアの生徒達が、利用者の方々と七夕飾りを作り、笹に飾り付けをしてくれました。

立派な七夕飾りができると、短冊にそれぞれの願いごとを書いたり、みんな楽しそうに過ごしていました。

みんなの願いごとは叶ったかな？

利用者の方々に喜ばれた  
『あいあい夏祭り』



8月7日(土)に病院前駐車場を開放し、特設ステージを設けて「あいあい夏祭り」が開催されました。

『青木ばやし』が、おかめ、ひよつこ、きつねなど、踊りを披露して頂き、利用者の方々も座りながら手や体を動かし一緒に踊りました。

みなさんに楽しんで頂いた事が一番思い出に残りました。



編集後記

医療法人募内会の機関誌が誕生しました。創刊号は、いかがでしたでしょうか。本誌にて、山王台病院と老健あいあいの日頃の取り組みを、広く皆様にご紹介していきたいと考えております。年四回の発行を目標に頑張りますので、ご期待ください。K.T記